



# 平成30年6月期 第3四半期決算短信(IFRS)(連結)

平成30年5月15日

上場会社名 キュービーネットホールディングス株式会社  
コード番号 6571 URL <http://www.qbnet.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 北野 泰男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 松本 修

TEL 03-6418-9190

四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日

配当支払開始予定日

未定

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	14,221	8.2	1,113	12.5	1,051	13.0	743	15.5	743	15.5	674	31.2
29年6月期第3四半期	13,140		1,272		1,208		879		879		980	

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円銭	円銭
30年6月期第3四半期	61.97	61.54
29年6月期第3四半期	73.31	73.11

(注) 当社は、平成29年12月14日開催の取締役会の決議により、平成30年1月1日付けで普通株式1株を100株に分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円		百万円		百万円	%
30年6月期第3四半期	23,132		8,146		8,146	35.2
29年6月期	23,573		7,434		7,434	31.5

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
29年6月期		0.00		0.00	0.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)					

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

2. 30年6月期(予想)配当につきましては、現時点では具体的な配当金額は未定であります。具体的な配当金額については、決定次第、改めてお知らせいたします。(30年6月期の配当金額については、親会社の所有者に帰属する当期利益に対する連結配当性向20%を目標としております。)

## 3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	19,090	6.2	1,714	14.1	1,631	15.0	1,100	7.5	1,100	7.5	91.67

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

2. 当社は、平成29年12月14日開催の取締役会の決議により、平成30年1月1日付けで普通株式1株を100株に分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり当期利益を算定しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年6月期3Q	12,000,000 株	29年6月期	12,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年6月期3Q	株	29年6月期	株
----------	---	--------	---

期中平均株式数(四半期累計)

30年6月期3Q	12,000,000 株	29年6月期3Q	12,000,000 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 当社は、平成29年12月14日開催の取締役会の決議により、平成30年1月1日付けで普通株式1株を100株に分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、平成30年5月15日に当社ウェブサイトに掲載する予定であります

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）要約四半期連結財政状態計算書	4
（2）要約四半期連結損益計算書	5
（3）要約四半期連結包括利益計算書	6
（4）要約四半期連結持分変動計算書	7
（5）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2017年7月1日～2018年3月31日)におけるわが国経済は、政府の財政政策及び日銀の金融政策による企業収益及び雇用情勢の改善等により、全体的には緩やかな回復・拡大基調が続いておりますが、個人消費については底堅く推移しているものの可処分所得は伸び悩んでおり、力強さを欠いております。

一方で、世界経済は、全体として緩やかに回復しているものの、中国を始めとするアジア新興国等の先行き及び今後の世界的な通商政策の動向など不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、国内における小売・サービス業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況が続いており、業種・業態を超えた競争の激化及び人材確保の困窮において特に苦しい状況が続いております。理美容業界につきましては、市場全体の縮小傾向は依然続いているものの、ヘアカット専門店市場はお客様の認知度も高まり、理美容サービスの1つのカテゴリーとして確立しつつあり、競合他社チェーンの出店強化等により競争が一段と激化しております。

このような状況の中、当社グループは、「低価格・短時間・高利便性・ヘアカットのみ・予約不要」という5つのお手軽さをお客様に広く享受して頂けるよう、サービスの向上及び店舗拡大に取り組んでまいりました。

具体的施策としては、国内の労働市場の需給が逼迫し理美容師採用のハードルが依然高止まりする中で、現状を改善するために、ヘアカット未経験者及びパートタイムの理美容師を積極的に採用し、育成をすることで戦力化を進め、より多くの理美容師の囲い込みを図る体制の構築を進めてまいりました。

海外においてはアジア地域外2店舗目を、1号店が好調であるニューヨークに2018年3月に新店を出店いたしました。ニューヨークでのヘアカットサービスの需要を掘り起こし早期店舗展開を図り、当社グループの成長に着実に資するよう進めてまいりました。

新規出店につきましては、24店舗出店いたしました。主な出店場所は、国内は一都三県を中心に16店舗、海外は台湾に3店舗、香港及びシンガポールに各2店舗、アメリカに1店舗であります。また、家主都合による閉店等により15店舗閉店したことで、当第3四半期連結累計期間末の店舗数は668店舗となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上収益は14,221百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は1,113百万円(前年同期比12.5%減)、税引前四半期利益は1,051百万円(前年同期比13.0%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は743百万円(前年同期比15.5%減)となりました。

なお、当社グループはヘアカット事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び資本の状況は次のとおりであります。

流動資産は、営業債権及びその他の債権の増加があったものの、その他の流動資産の減少等により前連結会計年度末に比べ407百万円減少し、3,081百万円となりました。非流動資産は、有形固定資産の減少等により前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、20,050百万円となりました。その結果、資産は、前連結会計年度末に比べ441百万円減少し、23,132百万円となりました。

流動負債は、借入金の増加があったものの、未払法人所得税等やその他の流動負債の減少等により前連結会計年度末に比べ615百万円減少し、2,824百万円となりました。非流動負債は、借入金の返済等により前連結会計年度末に比べ538百万円減少し、12,161百万円となりました。その結果、負債は、前連結会計年度末と比べ1,153百万円減少し、14,985百万円となりました。

資本は、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ711百万円増加し、8,146百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ245百万円減少し、1,717百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は、825百万円（前年同期は1,320百万円の増加）となりました。これは主として、税引前四半期利益1,051百万円に対し、法人所得税の支払額733百万円等の資金減少要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は、633百万円（前年同期は746百万円の減少）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出467百万円、無形資産の取得による支出108百万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は、382百万円（前年同期は553百万円の減少）となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出525百万円等があったものの、短期借入金の増加200百万円があったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2017年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	1,962,894	1,717,137
営業債権及びその他の債権	821,472	1,060,554
棚卸資産	81,188	109,137
未収法人所得税等	75,851	—
その他の流動資産	547,051	194,255
流動資産合計	3,488,458	3,081,084
非流動資産		
有形固定資産	2,357,185	2,252,501
のれん	15,430,066	15,430,066
無形資産	135,377	175,109
その他の金融資産	1,620,075	1,662,303
繰延税金資産	420,539	421,398
その他の非流動資産	121,882	109,586
非流動資産合計	20,085,127	20,050,964
資産合計	23,573,585	23,132,049
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	486,648	364,671
借入金	763,725	963,125
未払法人所得税等	501,306	80,126
その他の金融負債	316,832	349,876
その他の流動負債	1,371,299	1,066,677
流動負債合計	3,439,812	2,824,476
非流動負債		
借入金	11,917,083	11,399,489
その他の金融負債	457,735	409,795
繰延税金負債	5,892	22,311
引当金	308,602	319,124
その他の非流動負債	10,122	10,679
非流動負債合計	12,699,437	12,161,399
負債合計	16,139,249	14,985,876
資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	5,000,000	5,000,000
利益剰余金	1,496,546	2,240,209
その他の資本の構成要素	△62,210	△94,036
親会社の所有者に帰属する持分合計	7,434,336	8,146,172
資本合計	7,434,336	8,146,172
負債及び資本合計	23,573,585	23,132,049

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年7月1日 至2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)
売上収益	13,140,933	14,221,390
売上原価	△10,253,626	△11,169,174
売上総利益	2,887,307	3,052,215
その他の営業収益	14,334	22,283
販売費及び一般管理費	△1,602,931	△1,937,530
その他の営業費用	△26,367	△23,908
営業利益	1,272,343	1,113,060
金融収益	8,892	9,956
金融費用	△72,835	△71,771
税引前四半期利益	1,208,400	1,051,245
法人所得税費用	△328,643	△307,582
四半期利益	879,756	743,662
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	879,756	743,662
四半期利益	879,756	743,662
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	73.31	61.97
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	73.11	61.54

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)
四半期利益	879,756	743,662
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	100,884	△68,827
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	100,884	△68,827
その他の包括利益合計	100,884	△68,827
四半期包括利益	980,641	674,835
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	980,641	674,835
四半期包括利益	980,641	674,835



(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自2016年7月1日至2017年3月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計
2016年7月1日残高	2,961,500	3,038,500	473,355	△202,169	—	△202,169
四半期利益	—	—	879,756	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	100,884	—	100,884
四半期包括利益合計	—	—	879,756	100,884	—	100,884
資本金から資本剰余金への振替	△1,961,500	1,961,500	—	—	—	—
新株予約権の発行	—	—	—	—	5,439	5,439
株式報酬費用	—	—	—	—	25,030	25,030
所有者との取引額合計	△1,961,500	1,961,500	—	—	30,469	30,469
2017年3月31日残高	1,000,000	5,000,000	1,353,112	△101,284	30,469	△70,814

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分合計	資本合計
2016年7月1日残高	6,271,185	6,271,185
四半期利益	879,756	879,756
その他の包括利益	100,884	100,884
四半期包括利益合計	980,641	980,641
資本金から資本剰余金への振替	—	—
新株予約権の発行	5,439	5,439
株式報酬費用	25,030	25,030
所有者との取引額合計	30,469	30,469
2017年3月31日残高	7,282,297	7,282,297

当第3四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2018年3月31日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	新株予約権	合計
2017年7月1日残高	1,000,000	5,000,000	1,496,546	△102,386	40,175	△62,210
四半期利益	—	—	743,662	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	△68,827	—	△68,827
四半期包括利益合計	—	—	743,662	△68,827	—	△68,827
株式報酬費用	—	—	—	—	37,001	37,001
所有者との取引額合計	—	—	—	—	37,001	37,001
2018年3月31日残高	1,000,000	5,000,000	2,240,209	△171,213	77,176	△94,036

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分合計	資本合計
2017年7月1日残高	7,434,336	7,434,336
四半期利益	743,662	743,662
その他の包括利益	△68,827	△68,827
四半期包括利益合計	674,835	674,835
株式報酬費用	37,001	37,001
所有者との取引額合計	37,001	37,001
2018年3月31日残高	8,146,172	8,146,172

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,208,400	1,051,245
減価償却費及び償却費	493,483	556,977
金融収益	△2,264	△9,956
金融費用	72,835	71,771
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△14,866	△271,773
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△25,564	△28,651
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	57,748	△36,856
その他	△251,396	212,863
小計	1,538,376	1,545,619
利息の受取額	755	1,544
利息の支払額	△65,303	△64,079
法人所得税の還付額	—	76,641
法人所得税の支払額	△152,918	△733,956
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,320,909	825,769
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△617,211	△467,128
無形資産の取得による支出	△24,790	△108,881
差入保証金の差入による支出	△110,250	△86,074
差入保証金の回収による収入	16,016	32,698
その他	△10,494	△3,836
投資活動によるキャッシュ・フロー	△746,731	△633,223
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△525,000	△525,000
セール・アンド・リースバックによる収入	161,094	129,635
リース債務の返済による支出	△168,531	△178,951
新株予約権の発行による収入	5,439	—
その他	△26,313	△8,158
財務活動によるキャッシュ・フロー	△553,311	△382,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	68,908	△55,828
現金及び現金同等物の増加額 (△は減少)	89,775	△245,756
現金及び現金同等物の期首残高	1,928,303	1,962,894
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,018,078	1,717,137

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、ヘアカット事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり利益)

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年7月1日 至 2017年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2018年3月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (千円)	879,756	743,662
普通株式の期中平均株式数 (株)	12,000,000	12,000,000
ストック・オプションによる増加 (株)	33,313	83,881
希薄化後普通株式の期中平均株式数 (株)	12,033,313	12,083,881
基本的1株当たり四半期利益 (円)	73.31	61.97
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	73.11	61.54

(注) 当社は、2017年12月14日開催の取締役会の決議により、2018年1月1日付けで普通株式1株を100株に分割しております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益を算定しております。

(後発事象)

該当事項はありません。